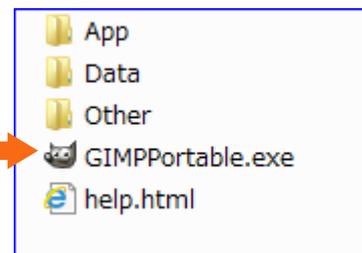


GIMPによる邪魔もの消し

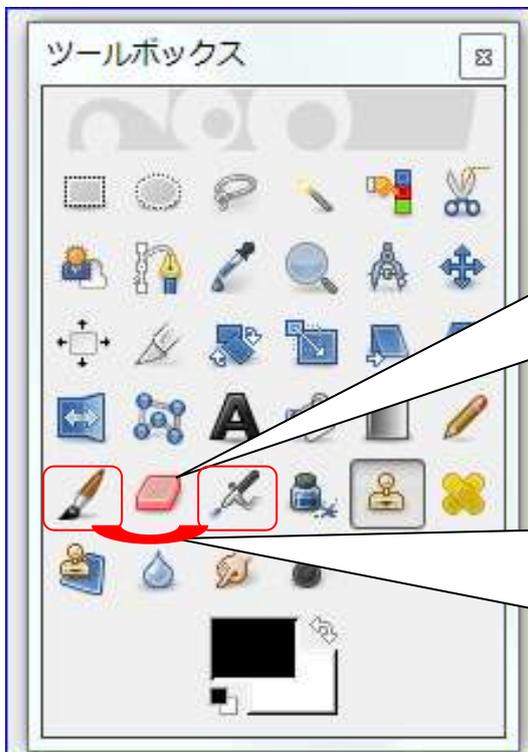
フリーソフト GIMP の講座「邪魔もの消し」も今回で3回めとなります。今回前半は前2回とは異なった方法で写真に写り込んだ邪魔な画像を消しゴムを使って消し、消したところに彩色し被写体のみのすっきり写真に整える方法を勉強します。後半は従来の方で[スタンプ]「修復ブラシ」使用での消し方も行い違いを比較します。

1. GIMP (GIMPPortable) を起動する

この印が起動アイコンです



2. 撮影時に写ってしまった邪魔ものを消す



《消しゴム》

邪魔もの消しで使用します。
邪魔になる人物を通常の消しゴムを使う方法と同じ方法で消します。
違う点は消しゴムサイズを大小変えつつ消すところです。

《ブラシで描画》

邪魔な人物を消した後、背景の色を取り込んで彩色します。
今回は空なので「**ブラシ**」と「**エアブラシ**」を使用します。
塗る場面に応じて「鉛筆」「ブラシ」「エアブラシ」が使用できます。

3. 写真に写りこんだ背景の人物2人を消しゴムで消す



◆ 写真を読み込む

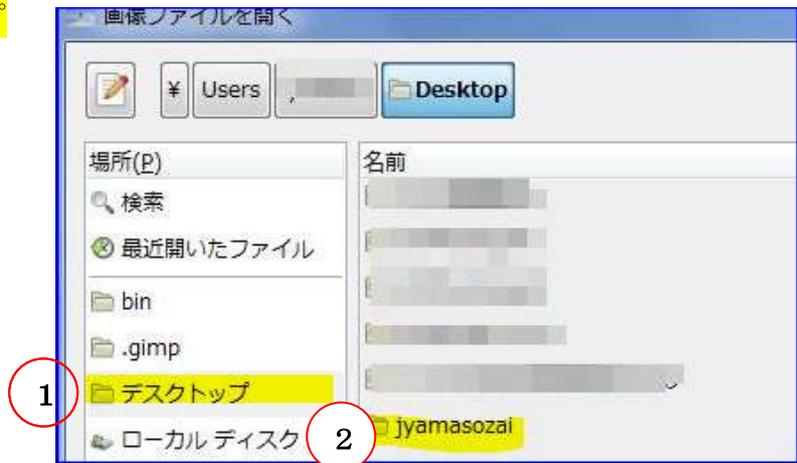
ファイルより
開く／インポート選択



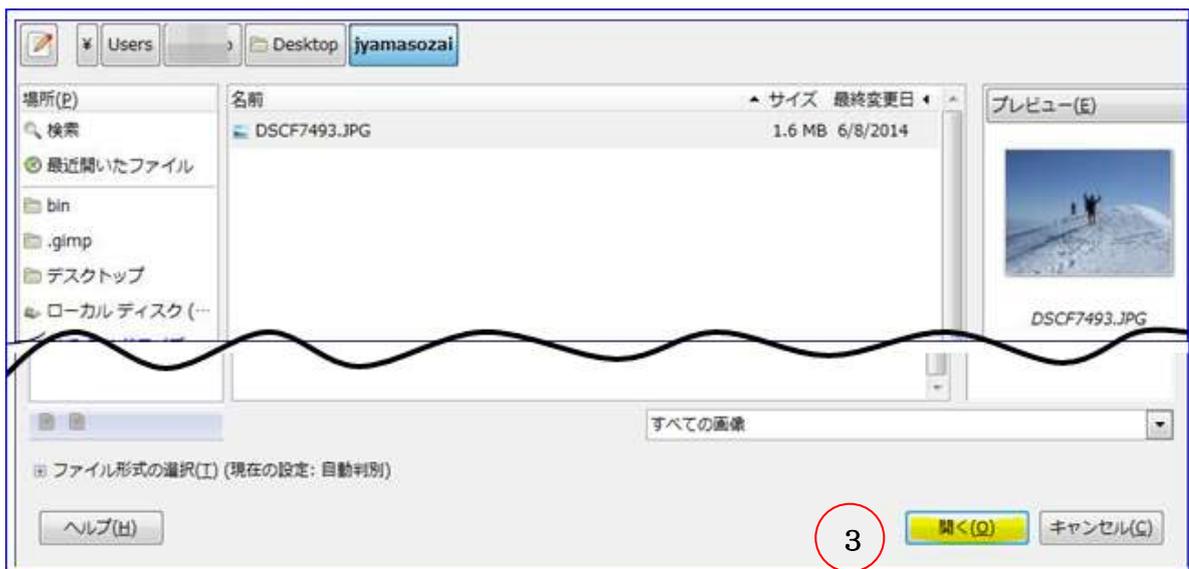
「画像ファイルを開く」でダイアログが開くので講座では

- ①場所から **デスクトップ**
- ②名前から **jyamasozai**

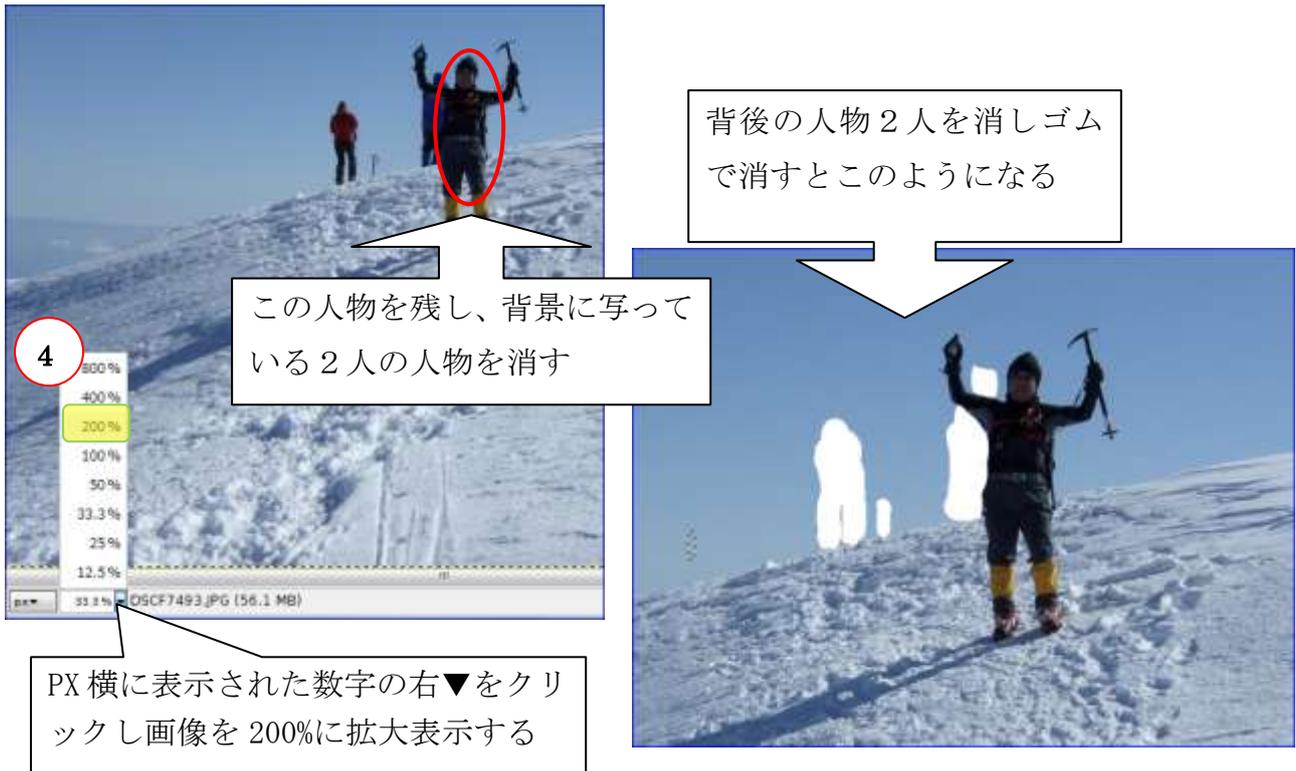
※使用写真は当日配布



③フォルダを開き表示された写真を選択し、右下の「開く」をクリックする。

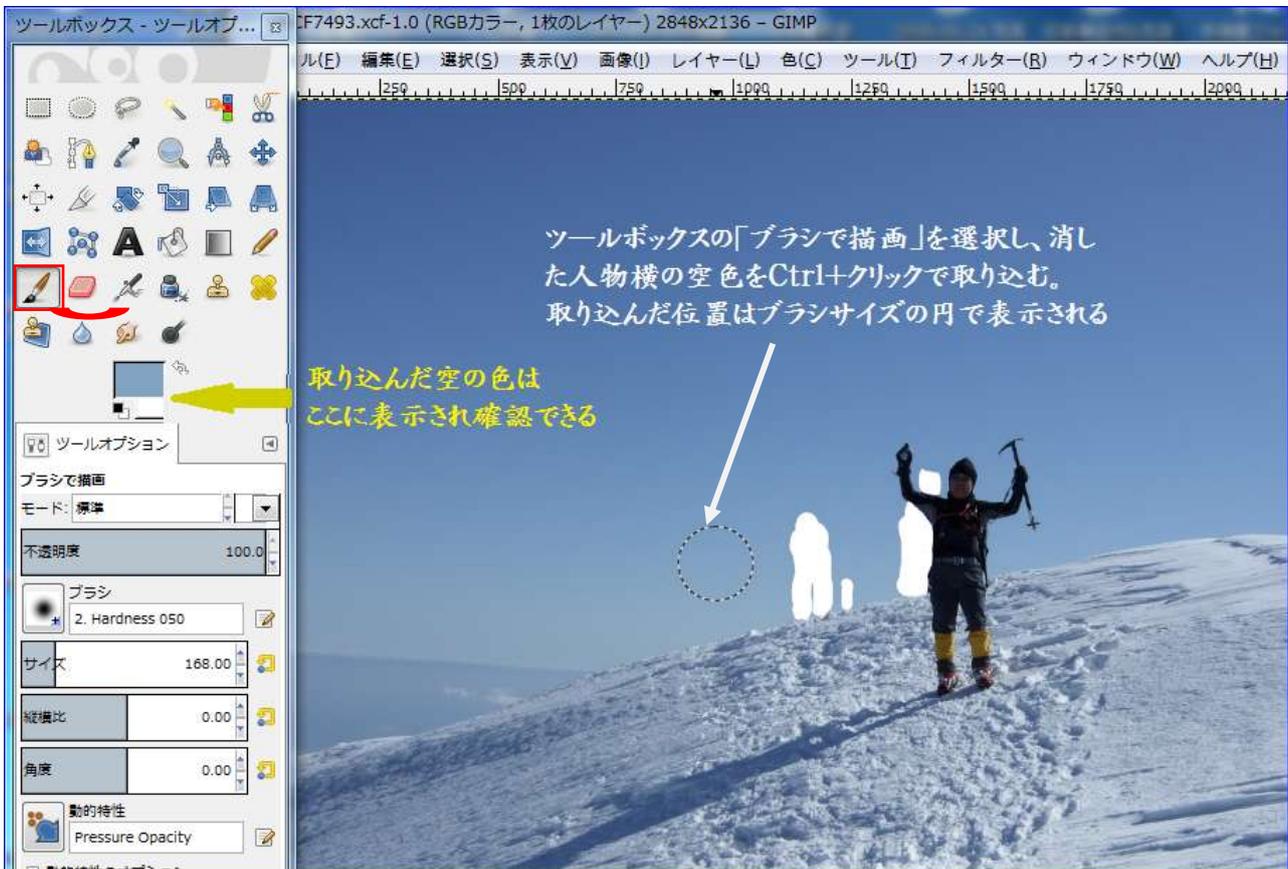


- ④ ツールボックスの「消しゴム」をクリックし人物を消す
写真を 200%に拡大し消しゴムサイズも消す場所に合わせて拡大縮小する。



4. 人物を消した跡を空の色で彩色し自然な空に戻す

- ① 空の色を取り込む・・・「ブラシで描画」を選択し消した画像横の空色を取り込む

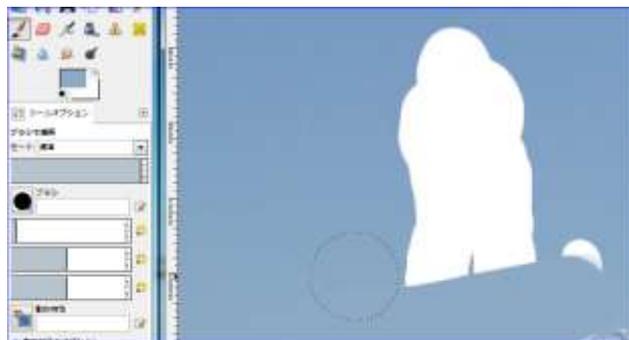


完成写真



◆ 彩色は各自で考えながら作業するが、参考にこの写真の作業手順を提示します

- ① 周囲にボカシなしのブラシを使い
サイズは大きめにし、空色取り込み、
間隔は円が重なる程度にする。
筆は「ブラシで描画」を選択しドラ
ッグで大まかに塗っていく。



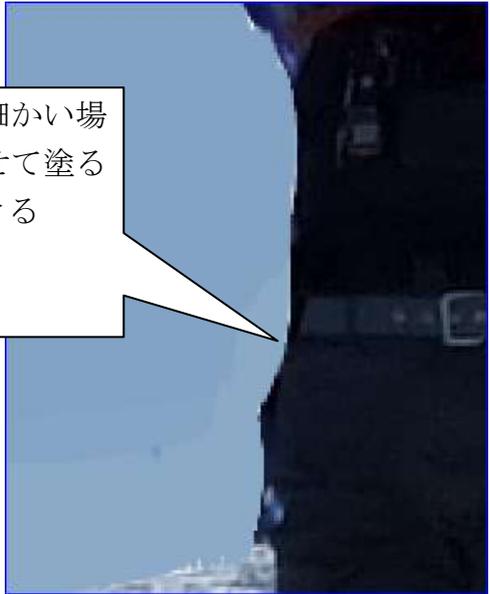
- ② 中心の人物との接触点は塗り難いので少し残す



- ③ ブラシの縦横比数値をマイナスにして選択形状を縦長円にする
この形にすると人物の袖下に添うので彩色しやすくなる

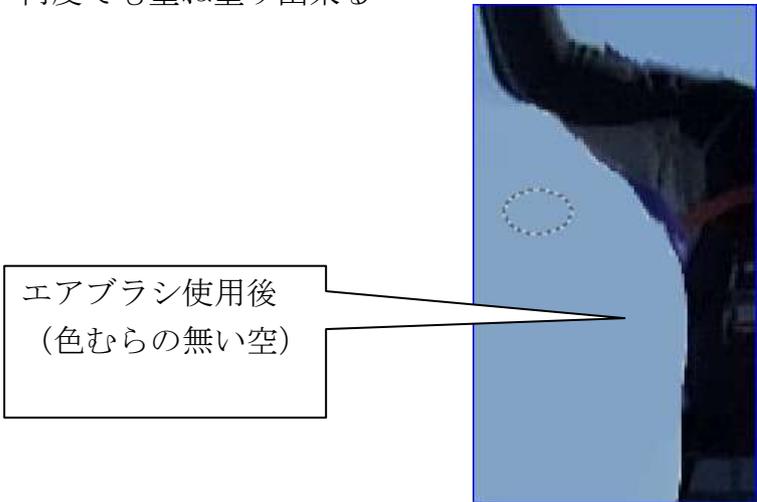
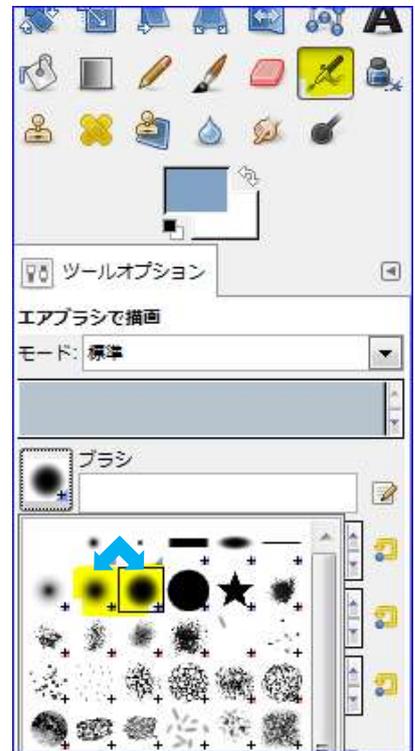


楕円形にすることで円の先端で細かい場所を塗り、円全体で曲線に沿わせて塗るという方法でこのように彩色できる
(重ね塗りは何度でも可能)



- ④ 空色彩色が完成後空色の調整を行う
ツールボックスより「エアブラシで描画」を選択
ブラシは周囲にボカシが入ったどちらかの  ブラシを選択

次は彩色と同じ方法で空色を取り込みコントラストの大きい場所を自然になるように塗りなおす。
何度でも重ね塗り出来る



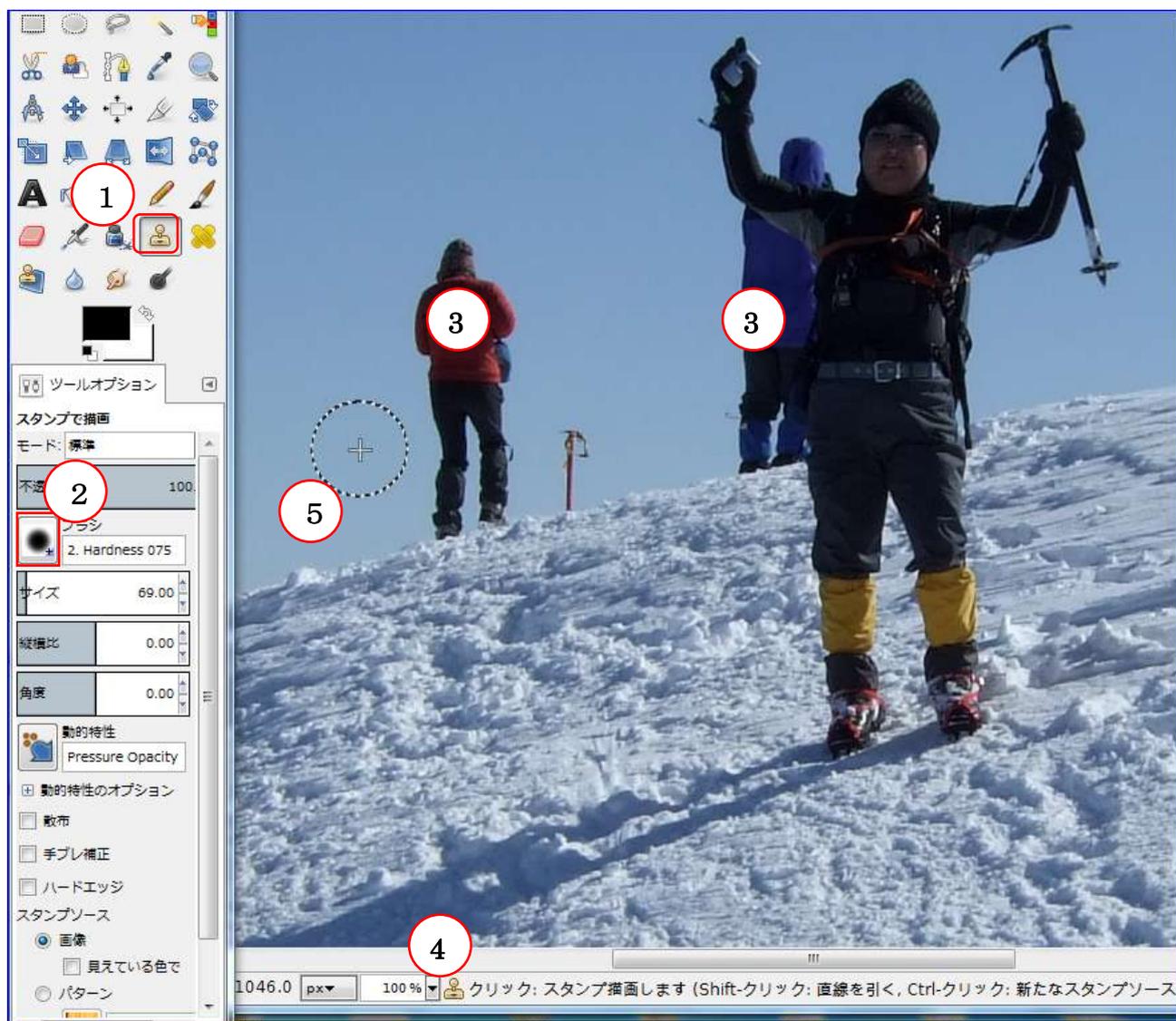
エアブラシ使用后
(色むらの無い空)

◆ ここからは同じ写真を使用し「スタンプ」と「修復ブラシ」で消す方法を行う

5. GIMPを立ち上げて「開く／インポート」よりデスクトップ上の jyamasozai 写真を取り込む

- ① ツールボックスの「スタンプで描画」を選択する。
- ② ブラシより周囲に少しボカシが入ったものを選択。
- ③ 取り込んだ写真の背景人物2人を消す
- ④ 写真の左下のPX 右横▼で100%を選ぶ・・・見え難い場合は200%にする
- ⑤ 消す人物横の空をCtrlを押さえてクリックする・・・○印が選択した位置

※これは空を選択する方法です。このように消す都度、消す人物横の空を選択し貼り付ける方法が実際の空を忠実に表現できる。



6. ⑤まで準備が整ったら Ctrl は離してマウスの左ボタンを押さえたまま横に動かす（ドラッグと言う）又はクリックで貼り付ける。
- ◆ ⑤のやり方で空の色を取り込み、人物の上をなぞる。
 - ◆ ブラシサイズやブラシの種類は場所に応じて替えると綺麗な空になる。
 - ◆ ドラッグで色を塗っているように感じるが、実際はコピーし貼り付けている状態。
 - ◆ ドラッグ距離が長いと消したいと思っている人物まで貼り付けることになるのでドラッグ距離は短くする。

悪い例

ここを選択して右斜め上にドラッグすると、これから消す人物の足が移動して貼り付けられている

※理由はクリックした位置がコピーされている

- ◆ 赤丸の足が白丸のところに貼り付けられた
- ◆ ピッケルも黄色丸の位置に貼り付けられた



上記の状態を避ける方法

- ◆ 一般的には人物から離れた位置を選択するか又はドラッグの距離を考える。
- ◆ この写真では遠くの位置を選択する方法では色の濃さが変わるのでブラシサイズを大きくしてワンクリックで大きな範囲を貼り付ける方法が適当
- ◆ 細かい場所はブラシサイズを縦長や横長にして貼り付ける。

色むらがあるので「修復ブラシ」で色を均一に修復する

横長の楕円で選択しているが人物の肩のところに形を合わせた



7. ツールボックスの「修復ブラシ」を選択

- ◆ ブラシサイズは中ぐらいにし、ブラシ種類は周囲にボカシが無いものを選択。
- ◆ ⑤の方法で空の色を取り込む・・・ここでは消した位置と色がよく合う場所を選択。
- ◆ 空の色を取り込みながら色を均一にする。
- ◆ 最後に人物の近くを塗る・・・ブラシサイズを小さく、形状も変化して張り付ける。貼り付ける方向は人物から←へドラッグする・・・洋服の色が入らないように注意。

完成写真・・・これは 100%に拡大した写真

肩の辺りに洋服の色が滲んでいるが普通サイズにすると目立たなくなる。

空の色は「スタンプで描画」の画像と比較すると自然になっている。



※「修復ブラシ」の特徴は色を均一にすることです。この写真の場合空の色を均一にするためには、色むらがある位置を選択しドラッグで塗ると自然な空色になります。